

中山道の今を彩る

〈古い建物を活かす人〉

戸谷さんとともに、蔵を活用し、中山道沿いに新たな「場」を作る人たちがいます。

Voice.1 人の喜ばせ方を「中山道」が教えてくれました。



小林 由美 さん
NINOKURA オーナー。
ママピーノを主宰するなど、子育て支援イベント等にも関わる。

—NINOKURA を始められた経緯は？
もともとは深谷市で深谷シネマというコミュニティシネマの運営に携わっていました。その際に戸谷さん（本庄まちNET）と出会い、この蔵を紹介してもらったのがNINOKURAを始めるきっかけです。



NINOKURA (にのくら)
旧小森商店の味噌・醤油蔵だったものをカフェとして改修。
蔵の由来にちなんで味噌・醤油を使った料理の提供や、2階は多目的スペースとして貸出している。

—街道沿いの魅力はどんなところか？
NINOKURA は幅広い世代に来てもらい、人と人をつなげるコミュニティカフェとしてはじめました。歴史ある街道沿いで店を構えているからか、まち歩きの途中で寄られる方も多いです。

市外から来るお客さんも多いので、「つみっこ」や「ナピラ」などの地元の名物料理を提供するようにしていますが、どうすればお店に来てもらえる方に喜んでもらえるのか、きっかけはやはりこの場所（中山道）が気づかせてくれた気がします。

Voice.2 昔からの文化やつながりを感じる街並みが魅力です。



植村 貴之 さん
植村 愛 さん
蔵髪オーナー。
貴之さんは商工会議所青年部として、地域のイベント開催にも関わる。

—蔵髪を始められた経緯は？
元々は夫婦ともども、横浜で美容師をしていました。結婚を機に奥さんの地元である本庄で美容室を開くため、元々好きであった蔵や古民家などの古建築を探していました。
そんな折 NINOKURA に訪れた際



蔵髪 (くらっぱ)
武正商店の築170年以上経つ紙蔵を譲り受け、戸谷さんと美容室として改修。
地域のコミュニティの場として美容室や着付けを行っている。

に、小林さんから戸谷さん（本庄まちNET）を、そして戸谷さんから、この蔵を紹介していただいたのがきっかけです。

—街道沿いの魅力はどんなところか？
移り住んできて感じたのは、この地域の皆さんは、まちを活性化しようという思いが強いということ。昔からの文化やつながりを大切に守っているからこそ、維持されているこの街並みが魅力的だと思います。

この景観自体が自分たちのような若い世代が入ってくる一つのきっかけになるんじゃないかと思うので、今後も古い建物を活かした取り組みを行っていききたいです。

蔵の街保存活動等、古い建物を活かしたまちづくりを行う戸谷さんにお話を伺いました。

Interview 古い建物をとどめることは、町の記憶を紡ぐこと。



戸谷 正夫 さん
有限会社戸谷正夫建築設計事務所代表。
まちづくり団体、本庄まちNETの代表も務める。

蔵の街保存活動について
金鑽神社側から本庄駅に進む形で中山道を歩くと左手に大きな蔵が3つ見えてくる。「本庄宮本・蔵の街」だ。ここを手掛けたのは一番手前の蔵「一の蔵」で建築設計事務所を営む戸谷さん。
生まれは本庄で一度東京に出てから独立して地元に戻り、事務所を営む傍ら、まちづくり団体「本庄まちNET」の代表も務める。

「旧小森商店の会長さんから、古い蔵などがある商店の敷地が売却予定であるという話を聞き、本庄まちNETで残す計画をやらせてもらえないかと打診したのがきっかけです」。戸谷さんの働きかけで保存活動が始まり、平成22年に敷地全体が「本庄宮本・蔵の街」として生まれ変わりました。

建築物は残していきたくて、「基礎として残せる」といいます。景色は時代に応じて変わっていくもので、しかし、建物はまじの記憶をとどめてくれないためにも、古くからあるいいものが基点となるようなまちづくりをしていきたいと考えています。まちの記憶をとどめるために、戸谷さんは



◀ 1912年当時の一の蔵
小森商店時代の一の蔵の様子。もともとは書類等を保管するための店蔵だった。現在は取り壊されている店舗も見える。

現在の一の蔵▶
現在は戸谷さんの建築設計事務所のオフィスとなっている。まつりの際は二階の窓から、山車の様子がよく見えるそう。

す。景色は時代に応じて変わっていくもので、しかし、建物はまじの記憶をとどめてくれないためにも、古くからあるいいものが基点となるようなまちづくりをしていきたいと考えています。まちの記憶をとどめるために、戸谷さんは

「古いものと新しいもの」といいます。中山道沿いの魅力について、戸谷さんは「街道筋というのは昔から、良い意味でも悪い意味でもいろいろな人が入ってくる場所。それは今にも通じる」といいます。

「古いものを活かしながら新しいものを柔軟に受け入れる。戸谷さんのそんな姿勢に共感した人たちが、まさに今、街道沿いで新しい場を作り上げています。」